

第27回 特別対談企画

「歩歩是道場」。日々のすべてを

自分を磨き、経営を磨くきっかけに

柘野俊明氏

曹洞宗 徳雄山建功寺住職／
庭園デザイナー／多摩美術
大学環境デザイン学科教授

真宗王国と呼ばれるほど、石川県は今も浄土真宗が盛んな地域ですが、室町期に同宗派が当地で拡大する以前、鎌倉期に加賀・能登で先に根を張ったのは曹洞宗でした。本紙読者の皆様の中でも案外、自分の家は曹洞宗という方は少なくないはずですよ。

今回は、神奈川県横浜市にある曹洞宗の寺院、徳雄山建功寺を訪ね、ご住職を務める柘野俊明さんにお会いしました。柘野さんは僧侶としての勤めの際ら、「禪」の心や要諦を分かりやすく伝える執筆活動、講演活動に精力的に取り組み、さらには庭園デザイナーとしても活躍されています。

柘野さんには、いくつかの禪の言葉を紐解いていただきながら、経営者があるべき姿のヒントをたくさんいただきました。知的で含蓄ある言葉の数々に、私も「なるほど」と頷くことの多い対談となりました。

読者の皆様が経営者として、また一人の人間として、自身を磨いていく上で参考になる内容かと思えます。なんらかのきっかけにしていたければ幸いです。

恵まれた
恩師との出会い

柘野 柘野ご住職は著名な庭園デザイナーとしての横顔も持ち、多摩美術大学環境デザイン学科の教授も務められています。さかのぼると、玉川大学農学部で学ばれていて、かなり異色の経歴です。



柘野 異色中の異色でしょうね（笑）。私が小学校高学年の時に、先代住職である父と母に連れられて京都に行く機会があり、龍安寺さんや大徳寺塔頭の大仙院さんに伺い、あまりにもきれいな庭にびっくりしました。そこで、お寺というのが、こういう美しいものがなければいけない。将来、私どもの寺にも兼ね備えられるようになったらいいなという漠然たる夢を持ったのがきっかけです。

まえ、騙されたと思って私の母校へ行け」と。そう言われて中学卒業後は、玉川大学の付属高校に入学し、続いて園芸の知識を得られる大学の農学部に進みました。

柘野 なるほど。

柘野 当時、私が今やっているような芸術としての庭園デザインの知識を深められたのですか？

柘野 そうです。その後、地元の公立の中学に入ったのですが、たまたま中学二年時の担任の先生が、玉川大学の教育学部の卒業生で、私がこういうことに興味があって、好きなのだと、ということを知って、「お

少年期に萌芽があったわけですね。

柘野 農業は庭に使う植物については教えてくれますが、きれいな庭をつくるというた授業はなかった。

柘野 では、独学で庭園デザインの知識を深められたのですか？



柘野 私は、高2の時に、後に私の恩師となる造園家の斉藤勝雄先生との出会いがありました。私どもの庫裡と客殿を建て直そうという話がお檀家さんから持ち上がり、庭もできる範囲で整備をしたらしいのではありません。ご縁があつてお願いしたのが斉藤先生でした。

柘野 境内で先生がデザインやスケッチをされるのを直接見る機会があり、こんな風に本当にできるのかなと思いましたが、そして、先生の指導もあって、先生の指す人達を「五山僧」といいます。一方、絵で表現したいという向きは墨絵をやって、その人たちを「画僧」といいます。私のように立体を磨く、この二つです。

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、



島経営グループ 会長

島善昭

曹洞宗 徳雄山建功寺住職／
庭園デザイナー／
多摩美術大学環境デザイン学科教授

柘野俊明氏

ますの・しゅんみょう。1953(昭和28)年神奈川県横浜市生まれ。玉川大学農学部農学科卒業後、大本山總持寺にて雲水として修行。1985(昭和60)年に徳雄山建功寺副住職、2001(平成13)年に同寺第18世住職に。また、造園家の斉藤勝雄氏に師事し、庭園デザイナーとしても活躍。代表作に水戸・祇園寺庭園、東京・カナダ大使館など。1998(平成10)年から多摩美術大学環境デザイン学科教授も務める。『禪が教えてくれる 美しい人をつくる「所作」の基本』(幻冬舎)、『美しく、心地よく、生きる』(PHP文庫)など著書多数。

削ぎ落として
真理を露わに

柘野 生まれ育った建功寺が禅宗のお寺だったということも関係しているですね。

柘野 昔、禪では修行として会得した自分の心の状態を何らかの手法で表現しようとしていた。文学が好きなら漢詩、それを得意とする人達を「五山僧」といいます。一方、絵で表現したいという向きは墨絵をやって、その人たちを「画僧」といいます。私のように立体を磨く、この二つです。

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、

柘野 経営者の仕事は、ヒト・モノ・カネといった貴重な経営資源を生かすことです。より詳細に言うとう、